



# 意識調査

●●●● 調査期間 ●●●●  
平成29年6月28日～7月18日  
●●●● 調査対象 ●●●●  
住民基本台帳から無作為に  
抽出した18歳以上の3,000人  
●●●● 有効回答 ●●●●  
1,209人 (40.3%)

市では、東日本大震災と東京電力福島第一原発事故などの影響によって、市民の皆さんが抱えている課題を整理・分析し、今後の市の事業へ反映させることを目的に、市民意識調査を実施しました。今回は、主な調査結果項目についてお知らせします。

今後は、調査結果を基に、市民の皆さんの不安解消や生活の充実を図るとともに、魅力的なまちづくりに向けた各種事業に取り組んでいきます。



## ① 生活の不安・心配 (複数回答：上位5項目)

| 順位 | 今回調査           |       | 前回調査 (昨年度)     |       |
|----|----------------|-------|----------------|-------|
| 1位 | 体調面や健康面(放射線以外) | 40.8% | 体調面や健康面(放射線以外) | 40.6% |
| 2位 | 医療・福祉サービス      | 36.4% | 放射線による人体への影響   | 40.0% |
| 3位 | 放射線による人体への影響   | 35.3% | 医療・福祉サービス      | 35.6% |
| 4位 | 生活資金の確保        | 21.6% | 生活資金の確保        | 22.4% |
| 5位 | 仕事や雇用          | 17.6% | 賠償・補償金の問題      | 19.1% |

生活で抱えている不安や心配は、前回同様「体調面や健康面(放射線以外)」が最も多くなっています。

前回調査と比較すると、「放射線による人体への影響」は、約5ポイント下降して3番目となり「賠償・補償金の問題」は、約4ポイント下降して上位圏外となりました。

震災から6年以上が経過して、市民が抱く不安の内容が、変わりつつあることが伺えます。



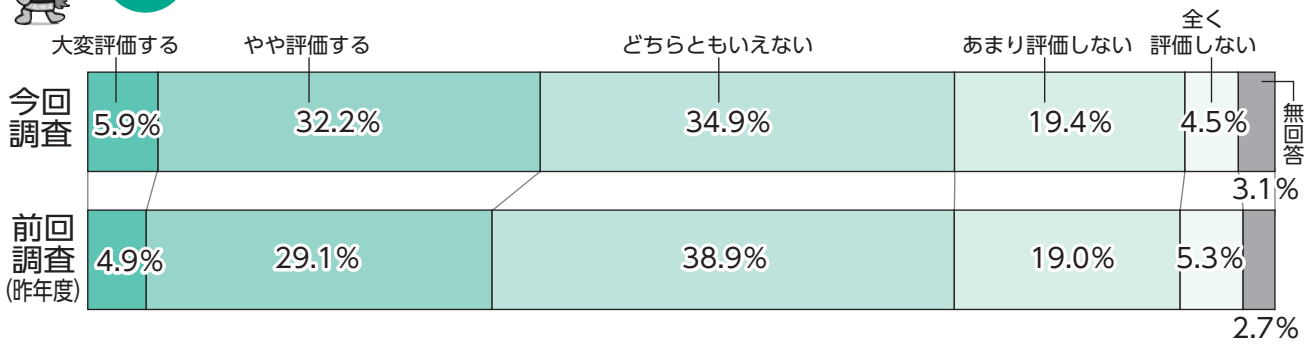
## ② 生活改善に必要な施策 (複数回答：上位5項目)

| 順位 | 今回調査             |       | 前回調査 (昨年度)       |       |
|----|------------------|-------|------------------|-------|
| 1位 | 通院・入院など医療サービスの充実 | 51.5% | 通院・入院など医療サービスの充実 | 51.6% |
| 2位 | 高齢者福祉サービスの充実     | 44.7% | 鉄道・バス等公共交通の充実    | 42.8% |
| 3位 | 鉄道・バス等公共交通の充実    | 38.5% | 高齢者福祉サービスの充実     | 40.8% |
| 4位 | 商店やスーパーなど商業施設の充実 | 35.4% | 商店やスーパーなど商業施設の充実 | 34.5% |
| 5位 | 健康診断や相談など健康管理の支援 | 22.7% | 放射線の詳細な情報や知識の周知  | 25.3% |

日常生活の改善に必要な施策については「通院・入院など医療サービスの充実」が、前回調査と同様に最も多く、前回調査で3番目に多かった「高齢者福祉サービスの充実」が2番目になりました。高齢化の進行が反映されたと考えられます。



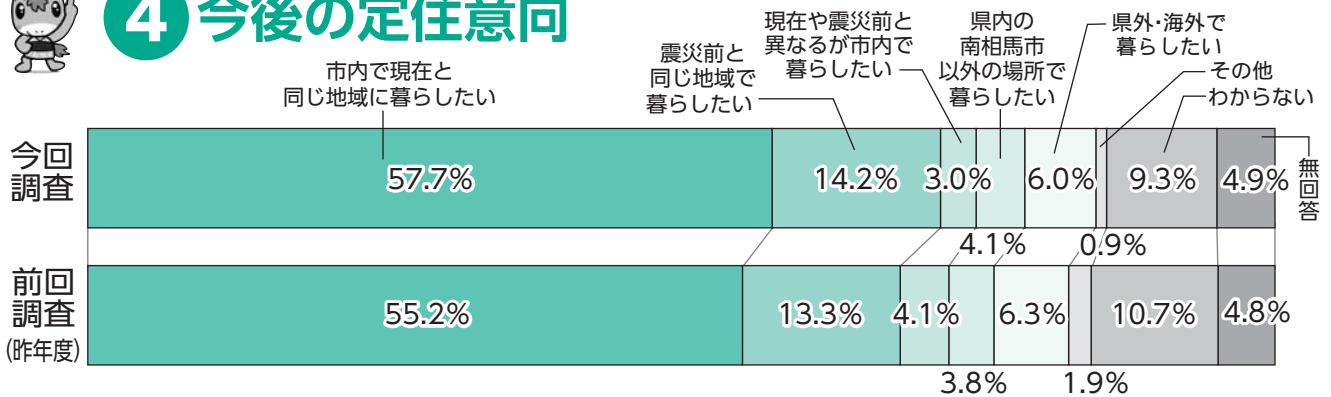
### 3 復興取組への総合評価



復興への取り組みに対する評価は、「大変評価する」と「やや評価する」が「あまり評価しない」と「全く評価しない」を上回っています。  
市民の復興に関する総合評価は、前回調査と比較しても高まっています。



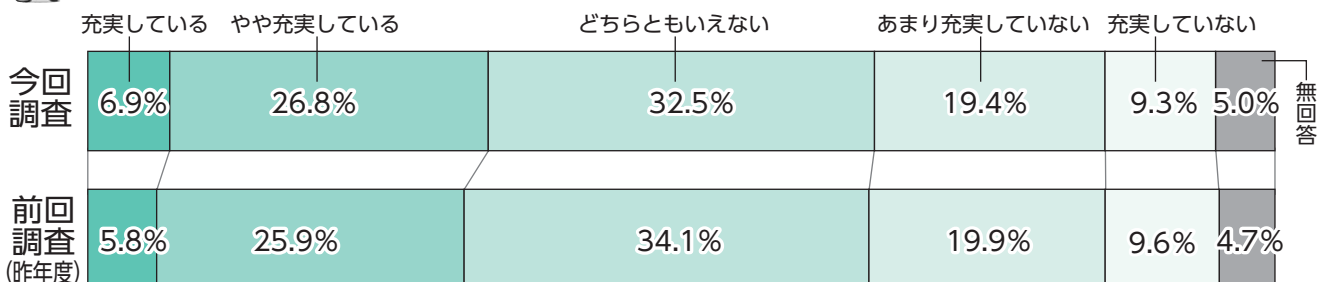
### 4 今後の定住意向



今後の定住意向については、「市内で現在と同じ地域に暮らしたい」が最も多く、「震災前と同じ地域で暮らしたい」、「現在や震災前と異なるが市内で暮らしたい」を合わせると、市内での定住を希望する人は、全体の7割を超えています。  
前回調査と比較すると、「市内で現在と同じ地域で暮らしたい」が上昇しており、現在の場所での定住意向が年々高くなっていることが伺えます。



### 5 生活の充実度



生活の充実度は、「充実している」と「やや充実している」が「あまり充実していない」「充実していない」を上回っています。  
前回調査と比較すると、市民の生活への充実感が高まっていることが伺えます。

調査結果の詳細は、[平成29年南相馬市民意識調査](#) で検索